学校番号	３１６

平成３１年度　芸術科［書道］

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	書道Ⅱ　（教育図書）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

創作を中心に授業を展開します。甲骨文字の研究と創作、木簡作品、絵手紙作品づくりや自作の詩や言葉を自由に書きましょう。篆刻を通じて方寸の造形性を学習します。また、刻字作品の制作を行います。様々な自己表現をさせると同時に他の人の作品を多く鑑賞、批評させ、鑑賞眼を養い、自作品に客観性をもてるようにしましょう。

2　学習の到達目標

書道Ⅰで学んだ基礎から発展させた作品制作を行い、自己表現力、鑑賞力をつける。さらに、歴史的書作品の理解を深め、同時に今日的書作品のあり方を認識させる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:書への関心・意欲・態度	b:書表現の構想と工夫	c:創造的な書表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け、表している。	日常生活の書の伝統と文化について幅広く理解し、その評価を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	観察 レポート ワークシート	観察 レポート ワークシート 提出作品	観察 レポート ワークシート 提出作品	観察 レポート ワークシート 提出作品

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	オリエンテーション	授業を受けるにあたっての考え方、道具、 設備、提出物、評価等説明。	○				a: 質問・対話ができている。	観察
	作品鑑賞	教室内150展示作品の鑑賞と鑑賞レポート の提出。	○			○	a:積極的に鑑賞できている。 d:主観的に表現されている。	観察 レポート

1	甲骨文字によるデザイン書作品	文字の歴史の学習。いろいろな甲骨文字を解読してみる。 文字集より甲骨文字を選び自分流に獣骨、甲骨片を再構成して、小筆を用いて表現する。	○	○			a:文字の歴史に興味をもち、主体的に取り組めている。 b:文字の歴史を理解し、甲骨文字の表現を工夫している。 c:文字の歴史を理解し、小筆の用筆法を見つけている。 d:文字の歴史を理解し、文字の変遷を鑑賞し考えることができている。	観察 ワークシート 提出作品
	木簡作品の創作	木簡の知識理解。 木簡文字集より文字を選択し、その特徴ある造形を学ぶ。 画仙紙半切の横半分の紙に木簡の書を再現する。	○		○		a:上に同じ b:上に同じ c:文字の歴史を理解し、蔵鋒や波たくなどの技能を身に付けている。 d:上に同じ	観察 ワークシート 提出作品
	絵手紙①	絵と簡単な文で気持ちを表現する ①作品の鑑賞及び説明。 ②描き方実習、創作活動	○			○	a:自由な発想をひらめかせ、積極的に取組んでいる。 b:自由な発想をひらめかせ、表現に工夫ができている。 c:自由な発想をひらめかせ、技能を効果的に用いている。 d:生活の多様な事柄から表現の発想を得て作品に反映できている。	観察 ワークシート 提出作品
	篆刻の学習	今後いろいろな作品に押すために、手軽にできる印をつくる。 ①説明とデザイン ②印を彫る、押印		○	○		a:篆刻に興味・関心・意欲をもって取組めている。 b:刀法を理解して、表現の工夫をできている。 c:刀法を理解して、その技能を身に付けている。 d:多様なデザインの鑑賞を積極的に取り組み、自分の作品に反映できている。	観察 ワークシート 提出作品

2	創作について(線、形)	創作と作品づくりの説明 線を書こう(極太、極細、遅速、緩急の表現と筆の限界) 形を書こう(扁平、傾斜、はみ出し等の造形トレーニング) 線や形に感情を入れる。	○	○			a:筆や墨を使って多様な線を表現することに興味、関心をもって取り組んでいる。 b:多様な筆使いを考え、表現を工夫できている。 c:新たな用筆に気づき、身に付けている。 d:周りの生徒の作品を見て、自分の作品に応用できている。	観察 ワークシート 提出作品
	詩やことばの創作	詩や歌詞、日常使っている言語で芸術性の高い書作品を創作する ①題材探し、テーマ設定、詩文探し ②構成とデザイン ③創作活動、効果的表現の研究 ④作品鑑賞、批評会		○		○	a:自由な発想をひらめかせ、積極的に取組んでいる。 b:自由な発想をひらめかせ、表現に工夫ができている。 c:自由な発想をひらめかせ、技能を効果的に用いている。 d:生活の多様な事柄から表現の発想を得て作品に反映できている。	観察 ワークシート 提出作品
	行草作品の創作	漢詩を用い書作品をつくる。 ①行草作品の説明 ②漢詩の選択 ③構成・文字造形を考える ④半切に書く ⑤作品の鑑賞会		○	○		a:書道Ⅰで身に付けた用筆法をふまえ、行草作品に興味、関心、意欲をもって取組んでいる。 b:書道Ⅰに身に付けた用筆法をふまえ、発展させた表現の工夫ができている。 c:書道Ⅰに身に付けた用筆法をふまえ、発展させた技能を身に付けている。 d:周りの生徒の表現の工夫や技能を鑑賞し、評価できている。	観察 ワークシート 提出作品
	絵手紙②	季節を絵手紙で表現する。 テーマ:年賀状など	○			○	a:絵手紙①に同じ b:絵手紙①に同じ c:絵手紙①に同じ d:絵手紙①に同じ	観察 ワークシート 提出作品
3	絵手紙③	旅を絵手紙で表現する。 テーマ:修学旅行記 絵手紙鑑賞会	○			○	a:絵手紙①に同じ b:絵手紙①に同じ c:絵手紙①に同じ d:絵手紙①に同じ	観察 ワークシート 提出作品

3	刻字	刻字による自己表現 ①刻字の説明と鑑賞 ②文字と文字デザインの選定 ③構成 ④デザイン原稿 ⑤彫る ⑥仕上げ･彩色･焼く ⑦金具止め	○	○			a:刻字という新しい分野に興味・関心・意欲をもって取組めている。 b:刀法を理解して、表現の工夫をできている。 c:刀法を理解して、その技能を身に付けている。 d:多様なデザインの鑑賞を積極的に取り組み、自分の作品に反映できている。	観察 ワークシート 提出作品

※　表中の観点について　a:書への関心・意欲・態度　　b:書表現の構想と工夫
　　c:創造的な書表現の技能　　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。